



世界の視点から、日々の食卓を考える

農業の今日と明日 —農と食から考える国際協力と平和

海外に依存する日本の食。それは効率化、大規模化によって日本の、世界の農業を経営、地力、環境…あらゆる面で破壊しました。長い時間と労力をかけて回復させるためには、消費者が関心を持ち、百年後の世界のための選択をする必要があります。タイでの地産地消の仕組み作りを軸に、世界の視点から私たちの姿勢を問います。

講師 松尾 康範 アジア農民交流センター事務局長／居酒屋・百年の杜店主／成城大学非常勤講師
<https://100nennomori.gorp.jp/>

日時 木曜日 10:30～12:30
①10/25 ②11/29 ③12/13 ④1/24 ⑤2/28 ⑥3/28

受講料 全6回 22,320円 **教材費** 『居酒屋おやじがタイで平和を考える』松尾康範著
発行コモンズ 1,728円【受講料と一括払込】

プログラム(予定)
①日本の食料事情と国際化
②日本のNGOの活動『アジア農民交流センター(AFEC)』『(特非)日本国際ボランティアセンター(JVC)』
③東北タイで取り組んだ「地場の市場づくり」
④山形県長井市『レインボープラン』(生ゴミ堆肥化事業) 日本のオルタナティブな取り組み
⑤お酒から考える自由と平和
⑥『食卓の向こう側』私たちの食生活みつめる



純国産ビールによる地産地消の取り組み

おさけの時間 —ビール編その2

1つのブランドの中でそれぞれのビールがこんなに個性際立つのは、実は珍しいこと。評価シートを使ったテイastingで味と香りを体験し、自身で納得した上で説明できたら、ビールのおいしさはもっと広がります。日本のクラフトビールが海外でどのような位置を目指すのか、ブランディングや経営戦略も垣間見ます。

講師 朝霧 重治 (株)協同商事 代表取締役社長／ビール伝道士
松永 和将 COEDOBREWERY カスタマーコミュニケーションチームリーダー
ビール伝道士
<http://www.coedobrewery.com/>

日時 木曜日 19:00～20:30 ①12/6 ②12/13

受講料 全2回 6,500円 **教材費** 試飲代等 2,000円【受講料と一括払込】

プログラム(予定)
①テイastingしてみよう! 評価シートを使って 味の掛け算
②日本のビールが海外へ COEDOブランドと、日本のクラフトビールのこれから



カンタンに済ませる問題ですか?

さあ、哲学を始めよう —近代思考の光と闇

ナチスを逃れ、渡米したユダヤ人哲学者ホルクハイマーとアドルノは『啓蒙の弁証法』で人間の理性が形式化を招き、結果として人を束縛するとして近代を批判しました。今日ますます顕著となる形式、単純、効率、画一といった思考の功罪を考えましょう。答を模索し続けるからこそ「哲学する」道かもしれません。

プログラム(予定)
①ホメロスのオデッセイアが示す物語
②サドとカント／相反する両者が示すもの
③アメリカ文化産業／ハリウッドの示す「画一化した趣向」

講師 岡本 裕一朗

玉川大学教授
『いま世界の哲学者が考えていること』ダイヤモンド社 2016年
『12歳からの現代思想』ちくま新書 2009年

日時 土曜日 16:00～18:00
①12/8 ②1/12 ③2/9

受講料 全3回 11,160円



見えないものこそ見るべきもの

キリスト教思想史を通して 現代を見つめる —暗闇のさらに先にあるもの

人間を中心に置いた人本主義は、人の理解できる範囲に全てのものを束縛しました。愛、正義、自由…計り知れないものの単純化が始まり、やがて戦争の世紀に向かいます。しかし全てを失った結果訪れた暗闇によって、かえって鮮明になった真実を見つめる道が開かれたのは、歴史の皮肉です。20世紀思想の潮流を見ます。

プログラム(予定) 闇を思考する～悲観主義哲学

①オッカムの単純化／ヒューマンイズムの始まり
②深い謎／ヘーゲルのキリスト教の精神と理性
③沈黙の神／マックス・ヒコートと人間性
④苦悩の神／アウシュヴィッツ以後、超越神はどこに?
⑤闇の哲学／エマニュエル・レヴィナスの光
⑥戦争と平和／苦悩する神とボンヘッファー

講師 中村 穰

飯能の山キリスト教会牧師
聖望学園聖書科非常勤講師
逃れの街ミニストリー代表
ウェスレー聖書神学大学大学院(在米)卒

日時 金曜日 19:00～20:30
①10/26 ②11/30 ③12/14
④1/25 ⑤2/22 ⑥3/22

受講料 全6回 13,920円



「思想哲学と循環型社会」を包括的に学ぶ。

晴耕雨読